

考える社員の増加が会社の未来を決める！！

中堅社員育成プログラムシリーズ②

テーマ【基本動作リテラシーアップ】

～あなたの会社で開催する会社単独スタイルの研修プログラム～
《外国人社員様にも対応バージョン》

中小企業の継業と夢に志と価値を持って寄り添うM・A・Nグループ

マイスター・コンサルタンツ株式会社

<http://www.m-a-n.biz>

■中堅社員育成プログラムシリーズについて

○中堅社員育成プログラムシリーズは21世紀は答えがない社会だからこそ、基礎力が必要です。21世紀は多くの業種が成熟期・衰退期となり、仕事そのものが高度化・専門化になり、難易度が極端に上がっています

○この現象への対応には正解がなく、合わせる答えがないから現実の仕事では困る事だらけとなります。基礎力アップが求められるのは、21世紀の売上高＝数量×単価×付加価値係数だからです。付加価値を高める為には、仕事の基礎力を高める事、考える事、感性を磨く事が必要となります

○基礎力とは当たり前のレベルを変える・上げる事です。
基礎力には、社会人として身につける力と職場の中で発揮してもらうものがあります。

◇社会人として身につける力は・・・①前に踏み出す力 ②考え抜く力 ③チームで働く力
◇職場の中で発揮してもらうもの・・・①生産性 ②知識・技術 ③意欲

このプログラムはこの基礎力テーマを高め、リーダーに育てる事をベースとした内容です。人をつくることは、職場を活性化し、会社に未来をもたらします。この中堅社員基礎力アッププログラムは会社に未来をもたらす礎を創ることを目的とします。今回、弊社は幾多の会社で実証してきた一般社員・中堅社員強化プログラムを皆様にご提案したいと考えます。

■中堅社員育成プログラム 担当コンサルタント

マイスター・コンサルタンツ株式会社 代表主席コンサルタント 小池 浩二

<http://www.m-a-n.biz>

中小企業専門の経営コンサルタントとして平成9年4月創業。実践に基づいた中小企業成長戦略のシステムづくりを旨とし、これまで経営診断・経営顧問・研修等で1000社以上に関わる。

特に『年商10億・30億・50億・100億の壁を突破させる方法』には実践的で中小企業向けと定評があり、全国各地からコンサルティング依頼が絶えない。また、500人以上のプレイングマネージャー育成から開発した独自メソッドも日本初となるプレイングマネージャーの専用HP『プレイングマネージャーの仕事術メソッド』にて公開。

2018年から、中小企業の人財基礎力アップの為の教育動画チャンネル会社として、OJTチャンネル株式会社を立ち上げて、新たな活動を展開中。著書に『なぜ、会社がうまくいかないか？』『売上を1ケタ上げるための社長の教科書』など（いずれもあさ出版）。

■受講対象者

・中堅社員 ・やる気のある若手社員、新人社員

■実施方法

- ・企業単独で行う研修スタイル
- ・月1回（3時間）×10か月間
- ・webスタイルでも対応いたします
- ・専用のe-ラーニングシステムを活用します

【基本動作リテラシーアッププログラムの特徴】

■人・チームを動かすために必要な基本動作

基本動作とはよく聞く言葉ではありますが、その意味合いを理解している会社は案外少なかったりもします。

特に、組織運営において問題になるのが基本動作が出来ていない事です。人を動かす基本動作が出来ていないので、チームの動き方に混乱が生じます。

基本動作を守らないと業務に支障をきたします。よい会社、チームをつくるための基礎的な環境です。

■規則性の仕事を円滑に進めるインフラが基本動作

基本動作の種類は3種類

- ①業務上の基本動作・・・社会人として出来なければ組織人として働けない基本的な動作
- ②業界固有の基本動作・・・業界らしさが表れる基本動作
- ③会社・部門固有の基本動作・・・自社・自部門でしかやらない固有の基本動作でノウハウでもある

仕事の70%はルーチンワークと呼ばれる規則性・繰り返しの業務。

基本動作を守らないと業務に支障をきたします。業績の下降時、事故・クレームは必ず基本動作の乱れが引き金になります。

■今回提案の基本動作内容

21世紀は答えがない社会だからこそ、仕事の基礎力を高める・考える・感性を磨く事が必要となります。

基礎力とは当たり前のレベルを変える・上げる事です。

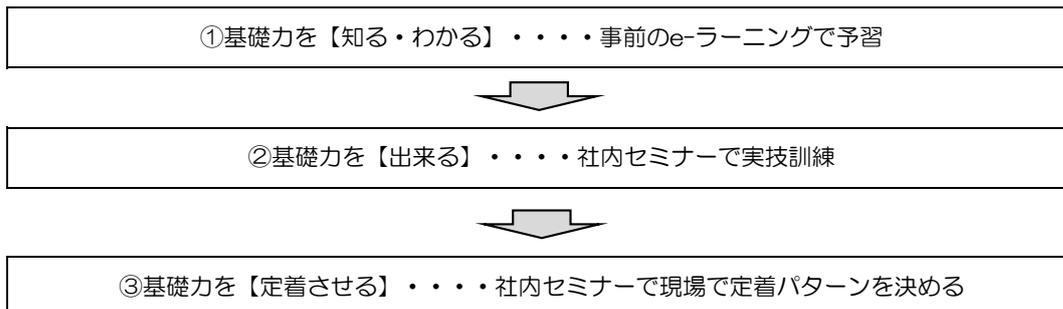
今回の基本動作テーマは特に【**チームで働く力に必要な基本動作**】に特化しております。

■実施する基本動作テーマ

考える行動慣習を身につけよう	正しい行動の仕方を理解する
基本動作を正しく理解する	チームの問題発見（自分達で取り組む業務改善）
人・チームを動かす報告・連絡を理解する	チームとしての問題解決
人・チームを動かす指示・命令	チームは全員で動かさないと動かない
PDCAにおける目標の考え方	チームのメンバーとしてやるべき事

プログラムの最大特徴《①知る・わかる ②出来る ③定着させるに対応》

■ 各回毎に①テーマ事前予習（e-ラーニング） + ②研修のダブル形式で基礎力をアップさせるプログラム



《予習・復習の為にeラーニング》《基礎力アップOJTチャンネルの提供》について

予習・復習の為にeラーニング



小池浩二の経営、TV 【プロが教える10分動画塾】を活用します

中小企業の現場に1000社以上関わってきた小池浩二が

中小企業に必要な経営技術、そして幹部・社員向けに必要な考え方・仕事ノウハウのテーマを厳選し、

小池自ら熱く語り かける動画です。



◎1つのテーマを5本のコンテンツ動画で構成（1コンテンツ5～7分・1テーマ30分を目安）

◎いつでもどこでも。PCもちろんスマートフォンでも見られる！！



当プログラムでは《10テーマ 50コンテンツ》を厳選し、各回毎に1テーマを予習・復習として活用してもらいます

テーマ	エッセンス	各コンテンツ
ホウ・レン・ソウではなく連絡・報告が正しい理解	人、チームを動かす為に必要な信頼のコミュニケーション「連絡・報告」 ●1つのテーマを5つのコンテンツで構成 ●1コンテンツ動画が5～7分	① 連絡・報告が正しい理解について
		② 報告の4つの種類
		③ 連絡の方法
		④ 報告のやり方
		⑤ 連絡・報告の推進

【基本動作基礎力アップOJTチャンネルテーマ一覧】 10テーマ 50コンテンツ

各動画テーマ	ポイント
①考える行動慣習を身につけよう	環境に合わせて仕事を変化させるための行動慣習とは
②基本動作を理解しよう	基本動作の本当の意味を理解するために必要な事
③ホウ・レン・ソウではなく連絡・報告が正しい理解	人、チームを動かす為に必要な信頼のコミュニケーション
④仕事のスタートは命令・指示から	仕事のスタートでつまづかない為のポイント
⑤PDCAにおける目標の考え方	業績UPのポイントはPDCAにあった！
⑥業績に比例する正しい行動予定の組み方	現場での正しい行動予定が成果につながる
⑦仕事の効率を上げる業務改善	仕事の効率を上げると売上が上がる!?業務改善のポイント
⑧問題解決はチームとしての財産	問題解決方法を理解するとチームにノウハウが貯まってくる
⑨メンバー全員でチームを動かす	リーダーに依存しないチームの作り方
⑩働きやすい職場を創る価値判断基準	チーム力を高める価値判断基準のポイント

◆この10テーマ 50コンテンツが見放題・聞き放題になります

◆この動画は下記の言語を画面テロップとして対応しておりますので、外国人社員様にも対応できます

①日本語②英語③インドネシア語④ベトナム語⑤フィリピンタガログ語⑥スペイン語⑦カンボジア語（2024年4月現在）

その他の言語対応も順次整備していく予定です（最終105言語）

基本動作リテラシーアッププログラムの基本骨格について

1回目

テーマ・・・考える行動習慣を身につけよう

《1回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》

テーマ	エッセンス	各コンテンツ
考える行動習慣を身につけよう	環境に合わせて仕事を変化させるための行動習慣とは	① 環境変化に合わせた仕事のやり方 ② 本当の仕事は楽しい ③ 考える行動習慣を身につけよう ④ 参画する事の大切さ ⑤ 仕事には優先順位がある

《1回目 会場研修内容》

【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①物事の本質を考える ②問題意識とは ③根拠となる判断基準を考える ④優先順位の3つのポイント	【内容ポイント】・・・例題に基づいて個人で考えて発表してもらいます ①重要度・・・物事の根本・本質・成否にきわめて大切な事 ②緊急性・・・即座に対応しなければならない事 ③難易度・・・むずかしい事、やった事がない事 に基づくシュミレーションで判断してもらう

2回目

テーマ・・・基本動作を正しく理解する

《2回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》

テーマ	エッセンス	各コンテンツ
基本動作を理解しよう	「基本動作」の本当の意味を正しく理解する為には	① インフラ整備としての基本動作 ② 業務上の基本動作 ③ 会社・部門固有の基本動作 ④ リーダーの基本動作 ⑤ 基本動作の推進と定着方法

《2回目② 会場研修内容》

【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①基本動作とは何か？ ②基本動作の種類とその意味・役割 ③基本動作をチームで取組む方法	【内容ポイント】・・・基本動作をチームで取組む方法を決めます ①出来ている・出来ていない基本動作を押える ②基本動作ができない要因を分析 ③チームとして取り組む方法を考える

3回目

テーマ・・・人・チームを動かす報告・連絡を理解する

《3回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》

テーマ	エッセンス	各コンテンツ
ハウ・レン・ソウではなく 連絡・報告が正しい理解	人、チームを動かす為に必要な信頼のコミュニケーション「連絡・報告」	① 連絡・報告が正しい理解について ② 報告の4つの種類 ③ 連絡の方法 ④ 報告のやり方 ⑤ 連絡・報告の推進

《3回目② 会場研修内容》

【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①連絡・報告の正しい意味とやり方	【内容ポイント】・・・グループにて考えてもらいます ①実務訓練を行い、修得していく ②チームとして取り組む方法を考える

4回目	テーマ・・・人・チームを動かす指示・命令
-----	----------------------

《4回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
仕事のスタートは命令・指示から	命令とはやるべき事の目的、目標を伝える事。指示とはやるべき手順を伝える事。そのポイントを説明	① 命令と指示の正しい理解 ② 組織運営における命令・指示のポイント ③ 命令・指示の受け方 ④ 部下のレベルと命令・指示の出し方 ⑤ 命令・指示の実務ポイント

《4回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①指示命令の正しい意味とやり方	【内容ポイント】・・・グループにて考えてもらいます ①実務訓練を行い、修得していく ②チームとして取り組む方法を考える

5回目	テーマ・・・PDCAにおける目標の考え方
-----	----------------------

《5回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
PDCAにおける目標の考え方	仕事の基本であるPDCAサイクルを理解してもらう	① PDCAとは何か ② 目標がスタート ③ 目標とはいえない目標 ④ チームの課題が明確になると具体的な計画ができる ⑤ 成果を振り返り、今後の準備を整える機会

《5回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①PDCAにおける自チーム・自分の弱点・クセを理解する	【内容ポイント】・・・グループにて考えてもらいます ①PDCAチェックリストに基づく傾向分析 ②チーム・自分として取り組む方法を考える

6回目	テーマ・・・正しい行動の仕方を理解する
-----	---------------------

《6回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
業績に比例する正しい行動予定の組み方	現場での正しい行動予定が成果につながる	① 行動の仕方のポイント ② 仕事が出来ない人に共通する行動 ③ ビジネス行動の基本 ④ 業績と大いに関係がある非定型業務 ⑤ 行動予定の組み方

《6回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①仕事のスタートは行動計画をつくる事から始まる ②ルーチンワークと差額対策の違い ③優先的に行動計画に組入れる内容を理解する	【内容ポイント】・・・個人にて考えてもらいます ①1ヵ月間の仕事をルーチンワークと目標達成の差額対策の行動に分けてもらいます ②仕事の優先順位を考えてもらいます ③自分の1ヵ月間の行動計画を組んでもらいます

7回目	テーマ・・・チームの問題発見（自分達で取り組む業務改善）
-----	------------------------------

《7回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
仕事の効率を上げる業務改善	仕事の効率を上げると売上が上がる!?業務改善のポイント	① 業務改善を難しく考えるな ② 業務改善の基本である3ムダリ対策 ③ 改善の着眼 ④ 部門・個人の改善ポイント ⑤ 改善成果を上げるポイント

《7回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①問題とは何か？ ②問題の発見方法 ③業務改善の理解とその方法	【内容ポイント】・・・全員にて考えてもらいます ①業務改善について、各セッションにて検討していきます ②業務改善の着眼を見つけ、その継続実施方法を検討

8回目	テーマ・・・チームとしての問題解決
-----	-------------------

《8回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
問題解決はチームとしての財産	チームとして問題解決とは、仕事の精度を上げる基本動作を個人・チームとして身につける事	① 問題解決はチームとしての財産の概略 ② そもそも問題とはなにか？ ③ 基本的な問題解決手法 ④ 仕事の問題には正解がないから迷う ⑤ チームとして問題を解決する

《8回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①判断の基準となる「あるべき姿」を考える ②問題解決の手順	【内容ポイント】・・・全員にて考えてもらいます ①自チームにおける判断基準の種類は ②判断基準を明確にする

9回目	テーマ・・・チームは全員で動かさないと動かない
-----	-------------------------

《9回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
メンバー全員でチームを動かす	リーダーに依存しないチームの作り方	① メンバー全員でチームを動かすのポイント ② リーダーだけで動かそうとするからチームは動かない ③ チームリーダーは経営者の分身にチャレンジ ④ サブリーダーはチーム運営のサポートを行う ⑤ メンバーは自分の仕事に責任をもつ

《9回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①チームを動かす原則 ②プレイングマネージャー体制を理解する ③チームを動かす原型は小学校のクラス運営	【内容ポイント】・・・全員にて考えてもらいます ①チームが動かない時の原因は ②チームを動かす為に必要な役割は ③チームリーダーに依存しない方法

10回目	テーマ・・・チームのメンバーとしてやるべき事
------	------------------------

《10回目① 研修の事前予習の為にE-ラーニング・・・自主学習》		
テーマ	エッセンス	各コンテンツ
働きやすい職場を創る 価値判断基準	チーム力を高める価値判断基準のポイント	① 働きやすい職場を創る価値判断基準の概略 ② 同じ判断がチーム力のバロメーター ③ 会社内における価値判断基準の施策 ④ 目に見えない価値判断基準はぶれない軸足をつくる ⑤ 価値判断基準を教える方法

《10回目② 会場研修内容》	
【講座内容のポイント】	【実習内容ポイント】
①リーダーシップは全社員に必要である事実 ②誰でもチームを動かすマネジメントは出来る	【内容ポイント】・・・全員にて考えてもらいます ①メンバーがチームを動かすテーマを検討し、実行策を決めていきます

中堅社員育成プログラムシリーズ② 概要

■受講料金

- ・月1回¥165,000円（消費税込）×10回=¥1650,000円（消費税込）

■研修申込方法

- ・お申込をご希望の方はお問い合わせバナーからお申込みください

■お支払方法

- ・申込時に一括にてをお支払願います